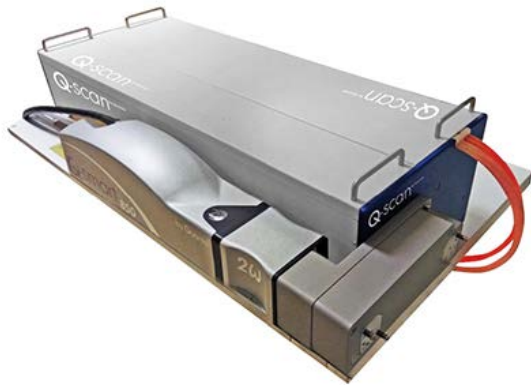


革新的なシステムデザインでLIFや高分解能分光をシンプルに

Quantel社製次世代スキニング色素レーザー「Q-scan」発売

(株)日本レーザー(本社:東京都新宿区西早稲田2-14-1、電話03-5285-0861、社長:近藤宣之)が代理店を務める仏国Quantel社(カンテル <http://www.quantel.fr/>)は、本年2月米国サンフランシスコで開催されたPhotonics West 2016で、高分解能スキニング・ナノ秒パルス色素レーザー Q-scanを発表した。



Q-scanはレーザー誘起蛍光法(LIF)からコヒーレント・反ストークス・ラマン分光(CARS)まで多様な分光用途向けに開発された。分光(特に気体)では、特定の物質を高い精度で励起するのに広い波長可変域と高い分解能が求められる。この分野では主にOH, CH, CO, NO基にフォーカスして分析を行い、これらは波長226, 248, 281, 390 nmで励起される。このようなアプリケーションでは簡単に波長を切り替える機能が重要である。

Q-scanは非常に精度の高いメカニクスを採用することで、高い絶対波長精度(<10pm)と再現性(<5pm)を獲得している。素早い再構成機能により、再調整無しでグレーティングを変更でき、360~900nmの広範なチューナビリティを提供する。また卓越した直線性(<2pm)で、スキャン中の高い波長精度を保証。

交換が簡単な「プラグ&プレイ」の色素セルと内蔵された非線形結晶のルックアップテーブルで、広い波長域を素早く簡単にスキャン可能である。

Q-scanのポンプレーザーにはQuantel社のQ-smartシリーズパルスYAGレーザーを用いることで、システムの小型化と使い易さをさらに強化できる。より高いエネルギーレベルが必要な場合は同社のYGシリーズとも組合せ可能である。

主な特長と仕様

- 広いスキャン波長域 200-4500 nm
- 比類のない波長精度、再現性、直線性
- 高効率で良質のビーム品質
- ユーザーフレンドリー:
色素交換が簡単、非線形結晶のルックアップテーブル内蔵で簡単スキャン、ビーム偏位コンペンセータ搭載
- Nd:YAG ポンプレーザー搭載完全一体型システム
- パルス幅 4 - 5 ns (FWHM with Q-smart 850), 8 - 10 ns (FWHM with YG980 series)

以上

株式会社 日本レーザー

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-14-1 URL <http://www.japanlaser.co.jp/>

本リリース製品の営業担当者 レーザー機器部 長谷山 智仁

電話 03-5285-0863 FAX 03-5285-0860 E-Mail: lase@japanlaser.co.jp

本リリースについてのお問合せ 販促業務部 山田 昭正 / 橋本 和世

電話 03-5285-0861 FAX 03-5285-0860 E-Mail: yamada@japanlaser.co.jp